

No.235

おおの

2026.4.25

議会だより

今回の定例会

3月

7月

9月

12月



阪谷小学校統合記念式典




小山小学校統合記念式典



- P 2・3 3月定例会の概要
- P 3 1月臨時会の概要
- P 4～6 代表質問の概要
- P 7～11 一般質問の概要
- P 12・13 常任委員会審査報告
- P 14・15 特別委員会報告
- P 16 議案等の各議員表決

バックナンバーと音声データ
あります

 /@OnoCityCouncil
大野市議会チャンネル
登録お願いします

おおのぎかいだより



3月 定例会の概要

第449回定例会が2月20日から3月24日までの33日間の会期で開催されました。

今回の定例会では、令和8年度の各会計予算案、令和7年度の各会計補正予算案、条例の制定・改正・廃止、人事案件など全30議案のほか、陳情2件について審議しました。審議結果は、16分の10のとおりです。

副議長に帰山氏

定例会初日に廣瀬浩司副議長の辞職に伴う選挙を行い、帰山寿章氏を第61代副議長に選出しました。

また、議会運営委員会、各常任委員会の委員を改選し、中部縦貫自動車道等交通対策特別委員会、こども政策・公共施設等改革特別委員会の委員の補充を行いました。

4日目には、帰山寿章議員の辞職に伴う大野・勝山地区広域行政事務組合議会議員の補欠選挙で、猪嶋清文氏を選出しました。



帰山寿章 副議長
(1期目、63歳)

委員会等の構成

議会運営委員会	常任委員会	
	総文厚生	くらし産業
◎ 山崎利昭 ○ 高田育昌 笹山晃一 猪嶋清文 白崎貴之 木戸屋八代実	◎ 白崎貴之 ○ 笹山晃一 猪嶋清文 木戸屋八代実 山崎利昭 高田育昌 廣田憲徳 高岡和行	◎ 岸本一敏 ○ 廣瀬浩司 帰山寿章 林順和 伊東由起恵 野村勝人 堀田昭一 梅林厚子
特別委員会		
予算	中部縦貫自動車道等交通対策	こども政策・公共施設等改革
◎ 山崎利昭 ○ 高田育昌 ※議長を除く議員	◎ 高田育昌 ○ 猪嶋清文 帰山寿章 白崎貴之 山崎利昭 梅林厚子 高岡和行	◎ 笹山晃一 ○ 伊東由起恵 岸本一敏 木戸屋八代実 林順和 廣瀬浩司 野村勝人
大野・勝山地区広域行政事務組合議会	福井県後期高齢者医療広域連合議会	◎委員長 ただし、大野・勝山広域行政事務組合議会は議長 ○副委員長
◎ 梅林厚子 笹山晃一 猪嶋清文 伊東由起恵 山崎利昭	梅林厚子	

条例の制定

大野市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例案

可決

乳児等通園支援事業（通称「こども誰でも通園制度」）の運営に関する基準を定めました。

条例の改正

大野市エキサイト広場総合体育施設設置条例の一部を改正する条例

可決

毎週水曜日及び祝日の翌日とされている休館日を廃止しました。この改正により、休館日は年末年始のみとなりました。

その他議案

指定管理者の指定について

可決

大野市九頭竜保養の里の指定管理者に9STAY株式会社（東京都台東区）を指定しました。

人事案件

人権擁護委員候補者の推薦について

同意

はせがわとしゆき
長谷川俊基氏（大月）を推薦することに同意しました。

陳情

「地域医療・介護を崩壊させないために機敏な診療・介護報酬改定を求める意見書」の採択を求める陳情書

趣旨採択

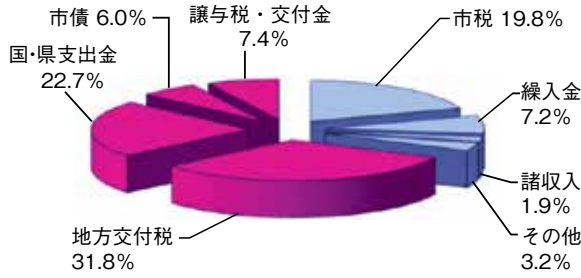
東京都新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情

採択

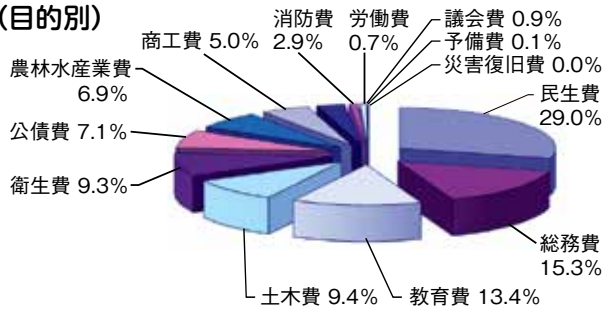
令和8年度各会計予算決まる

自主財源
依存財源

歳入



歳出(目的別)



令和8年度は、第六次大野市総合計画後期基本計画がスタートします。新たな視点に「ウェルビーイングの向上」「ジェンダーギャップの緩和」「シェアリングエコノミーの推進」を取り入れ、各分野の基本目標の達成に向けた施策について、これまでの成果や課題を踏まえながら、計画的・積極的に取り組み、第六次大野市総合計画における、まちの将来像「人がつながり地域がつながる住み続けたい結のまち」を実現します。

会計名	予算額	対前年度増減率, %
一般会計	198億1000万円	△ 2.2
特別会計	79億2081万円	△ 0.1
企業会計	34億2974万円	1.9
総計	311億6055万円	△ 1.3

※特別会計は、国民健康保険事業や介護保険事業など4会計の合計額。企業会計は水道事業、簡易水道事業、下水道事業の3会計の合計額

令和8年度の重点項目と主な事業

高速交通網の延伸を生かした稼ぐ力の向上

○稼ぐ力応援事業 1,248万円

地域経済の活性化を目的として地域資源や市の産業の魅力を発信するイベント開催を支援

○観光地魅力向上事業 1,025万円

団体ツアー客に、お買物券付き専用マップなどを提供する「越前おおのぶらり城下町散策」を実施

こどもや若者をまち全体で支える取り組み

○みんなが喜ぶおいしい給食事業 1億7,561万円

おいしい給食を子どもたちに提供するため、小学校給食費の無償化、中学校給食費の保護者負担を引き続き抑制

○学校司書配置事業 208万円

学校図書館の運営と読書教育の充実のため、小・中学校に学校司書を配置

人づくりと人材確保

○文化活動の環境づくり事業 936万円

文化活動の場として、既存施設の環境を整備

○男女共同参画プラン推進事業 62万円

幅広い世代や親子が気軽に参加できる啓発イベントを開催

安全・安心・快適な暮らしの確保

○地域生活支援事業 5,628万円

基幹相談支援センターを設置、障がいのある方などが気軽に相談や交流ができる居場所を創出

○各種大会開催事業 492万円

スポーツ・レクリエーション祭をリニューアルした「大野市スポーツフェスティバル(仮称)」を開催

脱炭素化の推進と気候変動への適応

○公用車をハイブリッド車に更新 1,022万円

公用車4台をストロングハイブリッド車に更新

○自然共生推進事業 69万円

本願清水イトヨの里の「自然共生サイト」(生物多様性保全の活動計画が国に認定された区域)の認定に向けた取り組み

行財政運営の最適化の推進

○公共施設等の解体 1億3,095万円

旧和泉体育館、旧大納地区集会所、市営住宅西里団地5棟、猪島水防倉庫の解体

第448回臨時会が1月26日に開催されました。
今回の臨時会では、令和7年度一般会計補正予算案と専決処分の承認の3議案について審議しました。

1月 臨時会の概要

議案第1号 令和7年度大野市一般会計補正予算(第7号)案

可決

議案第2号 専決処分の承認を求めることについて
(令和7年度大野市一般会計補正予算(第6号))

承認

議案第3号 令和7年度大野市一般会計補正予算(第8号)案

可決

政治家が落成式、開店祝いに花輪を出すことは禁止されています。



たかだ やすまさ

高田 育昌議員

市政会

動画でチェック



【質問項目】

- ①第六次大野市総合計画と人口減少対策について
- ②公共施設の運営方針について
- ③観光の産業化の現状と今後について
- ④18年をつなぐ教育について
- ⑤休日の部活動の地域移行と地域展開への発展について

第六次大野市総合計画後期基本計画の策定

問 前期基本計画に掲げた24項目の施策について令和6年度までの評価の総括を行い、平均評価点は64.8点である。この評価点をどのように受け止めているか。また、後期基本計画にどのように反映されたか。

答 概ね順調である。一定の成果が認められた施策がある一方で、改善が必要とされる施策もあると受け止めている。計画の検討会議の委員の多くが他の会議の委員を兼ねていたため、合同で会議を開催し、前期基本計画の施策への評価と後期基本計画の施策の検討がつながりを持って進められた。

大野市人口ビジョンの改訂

問 改訂前の目標達成状況と施策の総括は。

答 目標人口は令和7年に2万9,000人としている。これに対し県による推計人口は、令和7年10月1日時点で2万8,165人である。国が昨年12月にまとめた「地方創生に関する総合戦略」の施策に関する基本的方向の中でも「当面は人口・生産年齢人口が減少するという事態を正面から受け止めた上で、人口規模が縮小しても経済成長し、社会を機能させる適応策を講じていく」として取り入れられており、これまで進めてきた人口減少対策の方向性は、確かなものである。

大野市公共施設再編計画

問 大野市公共施設再編計画の進捗状況は。

答 令和8年2月に大野市公共施設等総合管理計画(公共施設再編計画編)を改訂した。方向性については、現状維持、

コスト削減や利活用促進、機能の集約化、譲渡、除却・解体に分類し、施設数の推移を見ると、平成25年10月に334施設あった公共施設は、平成30年3月には319施設、令和4年3月には303施設、本年2月には289施設となっている。

観光の産業化

問 これまで取り組んできた観光資源の磨き上げの効果をどのように捉えているのか。

答 まちなかエリアでは18事業者から31品の食べ歩きメニューが誕生し、六呂師高原周辺エリアでは、星空ハンモック、音楽フェス、星空観望会など、多様な星空関連イベントが開催されている。

18年をつなぐ教育

問 18年をつなぐ教育の成果と課題をどのように捉えているか。

答 校種を超えた連携の方向性を協議する「結・協議会」を設置し、スムーズな校種間接続や学びと成長の連続性の保証、実践の共通理解を狙いとして協議や実践を重ねている。今後は、児童・生徒の交流をさらに進めることができるよう協議を進め、具体的に取り組んでいく。幼・小・中・高の教職員の共通理解を図ることが主たる課題と考える。

休日の部活動の地域展開

問 令和8年度からどのような体制で地域展開を進めていくのか。

答 学校常設部活動以外のクラブも地域クラブ認定の対象とし、地域展開を進める。

第六次大野市総合計画後期基本計画の策定の考え方は



いのしま きよふみ

猪嶋 清文議員

大野市民の会

動画でチェック



《質問項目》

①市長の政治姿勢について

施策の自己評価について

問

これまで取り組んできた施策についての自己評価は。

答

中部縦貫道の延伸、学校教育環境の整備、子育て世代への支援拡充など、重要な課題を大きく前進することができた。

ライフステージに応じた切れ目のない子育て支援策を「大野ですくすく子育て応援パッケージ」として取りまとめ、全世帯に届けるとともに、令和7年1月には「おおの天空パークOSORA」をオープンするなどした。その結果、令和5年に110人だった出生数は、令和6年に116人。令和7年に119人と増加しており、国内では約7割の減少となっている中、大野市は約8.2割の増加となった。

令和2年度からヘルスウォーキングプログラムを実施した結果、医療費や介護給付費の抑制効果が確認されたほか、主体的に健康づくりに取り組む市民が増加した。

令和3年にオープンした道の駅「越前おおの荒島の郷」は、県内初のモンベルショップ出店や、「道の駅産直の会」による地元農産物や特産品の販売が効果を上げ、売り上げが着実に伸びており、市内経済の好循環につながった。

南六呂師エリアの日本一美しい星空が、令和5年8月に星空保護区の認定を取得した。これを契機に令和7年7月には、六呂師高原にキャンプ場「ソラトダイチ」がオープンされるなど、本市の星空の魅力を広く発信することができた。

移住・定住に関する支援策を「大野に来て見て住んで応援パッケージ」に取りまとめて取り組んだ結果、令和3年度から令和6年度までの移住者が182人、106世帯となった。

デジタル技術を活用した行政サービスの充実に努め、「書かない窓口」やコンビニを利用した税の収納、窓口手数料のキャッシュレス化を実現し、市民の利便性向上を図った。



新年度予算について

問

令和8年度予算はどういった点に重きを置いたか。

答

誰もがイキイキと幸せに暮らすことができるまちづくりを目指し、「高速交通網の延伸を生かした稼ぐ力の向上」「子どもや若者をまち全体で支える取り組み」「安全・安心・快適な暮らしの確保」などを重点項目とした。

稼ぐ力の向上に関しては、ふるさと納税返礼品の事業者へ設備投資の支援を行う。

子どもに関しては、地元食材を積極的に活用した、おいしく、みんなが喜ぶ給食の継続に向けて、小学校給食の完全無償化や、中学校給食の食材費の高騰分を市が負担することで、保護者の負担を抑える。

安全な暮らしの確保に関しては、鳥獣被害対策実施隊の報酬単価を引き上げ、若い世代の参加を促進するとともに、道路施設の長寿命化に取り組んでいく。



たかおか かずゆき

高岡 和行議員

もえぎ会

動画でチェック



《質問項目》
①市長の政治姿勢
について

市長の政治姿勢について

問 経常収支比率が改善されていないのはなぜか。

答 令和6年度の経常収支比率は94%で依然として高い水準にある。

問 人件費、物件費、公債費が増加傾向にあるが現状は。

答 当初予算にて人件費4.8%増、物件費8.6%増になっている。なお公債費は4.6%増になっている。

問 基金取り崩しが非常に多くなっているが当初予算の考えは。

答 新年度当初予算案に計上した基金繰り入れは14億円余り。

問 自主財源増収に向けた取り組みは。

答 本市の自主財源比率は30%と低い水準にあり、自主財源の強化は必要である。産業の振興や企業誘致などを推進し市税収入の増加に取り組む。

問 市職員、会計年度任用職員数が人口の割には多いと思うが。

答 令和6年4月時点で3人多い状況である。会計年度任用職員は横ばいである。

問 市職員の早期中途退職、長期休養人数が近年多い傾向にあるが。

答 働き方選択をした中途退職者がいたことから多くなった。地方公務員の心身不調による長期休業者が増加傾向にあり、令和6年度は10年前に比べて約2倍に増加している。

問 市債の借入利率上昇への対応はどうか。

答 市債の借り入れに当たり原則として固定金利方式を採用している。市債の借入利率は令和5年以降急激に上昇している。

問 人口減少に伴い、空き家、空き地、特定空き家等が増加傾向にあり、管理されていない物件が多くなってきているが、持ち主に消防面だけではなく倒壊による安全

施策はどのような指導をしているか。

答 現地確認を行った上で所有者等に対して適正に管理するよう電話や通知送付を随時行い、必要な処置を講じるように促している。

問 非常備の消防団の現状は。

答 消防団員数は減少傾向にある。消防団員の減少は、災害対応力および地域防災力の低下につながる重要な課題である。今後とも団員確保に努めたい。

問 商店街振興を精力的に支援と言っておられるが、次々と商店街振興組合が解散閉鎖している現状をどのように考えるか。

答 令和2年度は市内に4つの商店街振興組合があったが、3つの振興組合が解散した。市は各商店街の定時総会に参加するなど現状や課題を聞き取り、改善に向けて取り組んでいる。

問 観光誘客に関する計画の進行状況は。

答 メディアに対して出向宣伝を行い、本市の魅力を発信している。

問 商店街において事業継承は大きな問題だがどのような支援指導を行っているのか。

答 事業継承について相談があった場合、福井県事業継承・引継ぎ支援センターへつなぎ、専門的な支援が得られるようにしている。

問 本市の河川流量低下が顕著であると同時に河川の水枯れが発生するというような事案があるかどうか。

答 土地改良区などの水利権者と連携し水路整備やポンプアップによる流量確保に取り組んでいる。

問 学校教育の場における不登校、いじめ、発達障害と思われる児童・生徒の現状と対策は。

答 不登校は減少から横ばい、いじめはここ5年では横ばい。発達障害や愛着障害など気がかりな児童・生徒の数は増加傾向にある。支援員や相談員、教職員が連携して対応できるよう研修を強化し児童・生徒の支援方法に関する理解を深めている。

《質問項目》

- ①免許返納後も安心して暮らせる移動保障の確立
- ②イベント補助の制度設計と上限額の妥当性
- ③「想定外」に備える防犯灯補助制度の創設について
- ④指定管理者制度について
- ⑤旧蕨生小学校グラウンド跡地のホテル建設について



動画でチェック 

ささやま あきかず

笹山 晃一議員

大野市民の会



免許返納後の移動確保と課題

問 免許返納後の移動確保はどうか。

答 まちなか循環バスや乗り合いタクシーにより日常の移動は確保してきたが、移動需要が少ない休日や夜間に対応が難しい。利用者減少や運転手不足により運行時間も限定的であり課題と認識している。車両更新や免許取得支援により運行拡大を図りつつ、今後も共助型移動支援と組み合わ

せ、持続可能な移動環境の確保に努める。

市民活動を支える補助制度の在り方

問 イベント補助の上限額は妥当か。

答 上限15万円は既存制度や関係機関の意見を踏まえ設定した。観光誘客やにぎわい創出を目的とするが、今後は新たな産業戦略の中で、事業の継続や上限額の設定を含め検討していく。

《質問項目》

- ①市民スポーツ大会について
- ②おおのヘルスウォーキングプログラムについて
- ③高速交通網の延伸を生かした稼ぐ力の向上について



動画でチェック 

しらさき たかゆき

白崎 貴之議員

市政会



市民スポーツ大会の廃止による影響

問 市民スポーツ大会の廃止で、各地区が実施するスポーツ大会等への影響はないのか。

答 市民スポーツ大会廃止後も、各地区スポーツ協会が地区内における地域住民の交流や競技の普及といった役割を引き続き担っていただけるよう、各地区スポーツ協会が実施する事業への支援を継続していく。

おおのヘルスウォーキングプログラム

問 令和8年度おおのヘルスウォーキングプログラムは、これまでと何が変わるのか。

答 ポイントに応じて必ず景品を受け取れる参加者を医療費等の抑制効果が確認された65歳以上の方とし、64歳以下の方については抽選方式へ変更する。また、新たに市内事業者から協賛を募り協賛賞を設け、まちぐるみで健康づくりを推進していく。



動画でチェック



《質問項目》

- ① 稼ぐ力の向上について
- ② 小学校給食費完全無償化などの給食運営と図書館運営について
- ③ 市民協働による住民自治について

きどや やよみ

木戸屋八代実議員

もえぎ会

小学校給食完全無償化など給食運営について

問 本市の小・中学校給食は非常においしく、手作りにこだわったメニューの提供、地場産食材の使用と県内でもトップレベルである。小学校給食費完全無償化、中学校給食費食材費の高騰分負担とはどのように取り組むのか。

答 本市は食材の安全性や地域とのつながりを重視しており、給食費は国が示す

基準額を上回っている。その差額を保護者に求めることなく小学校給食費を無償化する。中学校は390円に据え置き、35円を市が負担する。

市民協働による住民自治について

問 (仮称) 地域交流センターの市職員の支援体制は間違いなく継続していくのか。

答 地域交流センターと名称変更になっても、職員体制は変わらないと考えている。



動画でチェック



《質問項目》

- ① 高速交通網の延伸を生かした稼ぐ力の向上について
- ② 給食費無償化について
- ③ 給水体制について

やまざき としあき

山崎 利昭議員

清風会

高速交通網を生かした稼ぐ力の向上について

問 中部縦貫自動車道全線開通に向けた、観光地としての展開と、スケジュールは。

答 開通時期をただ待つのではなく、開通の効果を最大化できるように、本市は令和4年2月に、越前おおの産業ブランド力向上戦略を定め、地域経済の自立と好循環の実現に向けて取り組んでいる。

市内を4つのエリアに分け、各エリアの観光資源を磨き上げ、観光誘客や観光コンテンツ造成を図り、併せて、商品開発や販路拡大、生産性を向上するための設備投資、創業や事業継承などへの支援を進めていく。

1日でも早い開通を願う者としては、引き続き国への要望に取り組んでいく。

《質問項目》

- ①物価高対策について
- ②文化活動について
- ③小学校グラウンドの芝生化整備について



動画でチェック



のむら まさと
野村 勝人議員

無会派

地域応援商品券について

問 プレミアムうぐpayの利用率は。

答 販売口数4万口、50.27%に当たる20,109口を販売。利用された金額は約4,939万円、利用率は購入分の98.24%。購入者数は4,399人。年代別は30代までが約2割、40代・50代が約5割。60代以上が約3割、そのうち70代以上が約1割。

問 プレミアム商品券・デジタル通貨の問題点を指摘してきたが、今回、市民1人当たり1万円、65歳以上には5,000円上乗せで地域応援商品券を発行し、問題点を解消した。よくやってくれたと思うがさらなる増額はできないか。

答 他市の状況を見ても、本市は高いレベルであると感じる。今後の経済の情勢・国の支援の状況等を見ながら、引き続き考えていく。

《質問項目》

- ①小・中学校の施設改修について
- ②子どもをまち全体で支える取り組みについて



動画でチェック



ひろせ こうじ
廣瀬 浩司議員

市政会

小学校の施設改修

問 今後、小学校の体育館の空調整備と有終西小・有終東小・上庄小・和泉小の施設改修をどのように進めていくのか。

答 小学校体育館の空調設備の整備については、文部科学省の空調整備臨時特例交付金の対象期間である令和15年度末までに完了することを目指している。

学校再編の対象となった下庄・有終南・

富田小学校については、令和9年度以降に空調整備の実施設設計および工事を実施していく。

有終西・有終東・上庄・和泉小学校の校舎改修については、国の交付金の配分状況や物価動向、経済状況を踏まえ、令和15年度末までに校舎全体の改修と体育館の空調整備を総合的に進めていきたいと考えている。



動画でチェック



《質問項目》

①市長の目指す大野市と令和8年度予算案

うめばやし あつこ

梅林 厚子議員

もえぎ会

ウォーターPPP導入に向けた検討について

問 検討の理由と目的は。

答 上下水道分野が抱える課題に適切に対応する必要があるため。官民連携手法が本市に適しているか、民間事業者の参画意向を調査しどのような形での導入が可能か検討する。

問 ウォーターPPPの導入による市民のメリットは。

答 導入の場合は、国の要件を満たし将来の下水道管の更新や調査費の支援が可能となる。

問 市民の個人情報を守るため、契約段階でデータ持出禁止など仕様書に明記するのか。

答 個人情報は守るようにきっちり書く。

問 導入検討段階から事業終了までの情報を常に市民に公開するのか。

答 市民、議員には情報公開する。

問 民間から利用料の値上げを要求されたら。

答 しっかりと検討していきたい。

*ウォーターPPP：水道・下水道等について行政と民間企業が協力して、公共施設の建設、維持管理、運営を行う仕組み



動画でチェック



《質問項目》

①18年をつなぐ教育の将来ビジョンについて
②使用料改定による令和8年度当初予算への反映について
③化石魅力体験施設管理運営経費について

きしもと かずとし

岸本 一敏議員

大野市民の会

18年をつなぐ教育の将来ビジョン

問 18年をつなぐ教育の目標について。

答 一人一人が自分の生き方を考え、適性に応じた進路を選択できる力を育み、キャリアパスポートを活用し、学びや経験を振り返りながらライフデザイン形成を支援する。

問 大学等受験料、模擬試験受験料の助成について。

答 令和8年度から低所得世帯やひとり親世帯を対象に、大学等受験料や模擬試験受験料を補助し、進学の世界確保を図る。事業は国・県の補助を活用。利用状況や成果を確認し継続を判断する。

公共施設使用料の改定による影響

問 使用料改定に伴う市民への影響について。

答 各施設の利用状況や使用料収入の推移、維持管理費などを把握し検証していく。

《質問項目》

- ①障がいのある方が地域で安心して暮らすための相談支援体制について
- ②子育て世代の経済的負担軽減に向けた保育支援の充実について



◀◀ 動画でチェック ▶▶



いとう ゆきえ
伊東 由起恵議員

市政会

障がい者の相談支援体制

問 基幹相談支援センターの設置により、どのような支援が拡充されるのか。

答 センターが各相談窓口との連携を図ることで、困難事例の適切かつ速やかな解決に向けた対応が可能となり、当事者や家族が安心して生活できる相談支援体制が強化される。

子育て世代の経済的負担軽減

問 ゼロ歳から2歳児の保育料を第一子から無償化とする考えは。

答 無償化については、今のところ予定していない。

問 保育所における紙おむつのサブスクリプションサービス導入について、市の考えは。

答 導入にあたっては、多くの課題がある。

《質問項目》

- ①和泉地域交流センターを中心とした地域づくりについて
- ②各種施策への合理的配慮の提供に向けて
- ③働きがいある職場環境とハラスメント防止に向けて



◀◀ 動画でチェック ▶▶



はやし よりやす
林 順和議員

市政会

和泉地区の地域づくり活動の現状は

問 市が住民自治の方針を示す中、モデル地区である和泉地区の活動の現状は。

答 全住民で組織する和泉自治会が主体となり、「ここに生き続けられるために」との地区住民共通の思いを込めた地域づくり計画の策定とともに、生活、産業、人・伝統のチームを設け、課題の解決に向けて取り組んでいる。

ハラスメント防止条例の制定は

問 市として特別職を対象に加えたハラスメント防止条例を制定する予定は。

答 ハラスメントのない組織づくりは事業主として適切に対応する必要がある。市長をはじめ、すべての公職者が責任を律する姿を明確にし、特別職も対象とした条例を制定したい。

くらし産業常任委員会 審査報告

(◎岸本、○廣瀬、帰山、林、伊東、野村、堀田、梅林)

【雪害状況等について】

◎市の説明

雪害による救急搬送は17人で、主なものは屋根からの転落事故である。また、市内の農業用ハウスの被害が多数確認され、県の補助に併せて、市においても支援を予定している。

◎委員の質問

来年度の雪による事故防止に向けた対応は。

◎市の答弁

市報などで雪下ろしの手順等を周知するとともに、降雪前に屋根雪下ろし講習会を開催したい。



雪下ろし講習会

【大野市文化会館の閉館に向けた クロージングイベント】

◎市の説明

5月12日から30日まで、文化会館クロージングイベント「文化会館60年のあゆみ

展」を実施する。このイベントでは文化協会の協力の下、文化会館で行われたこれまでの発表会や行事の様子を写真やスライドショーにより展示し、また、来館者が自由にメッセージを記入できるコーナーを設置する。

◎委員の意見

イベントの実施はとても良い。

クロージングイベントのPRに併せて、文化団体等で計画されている閉館に向けたイベントについてもPRしてほしい。

【一般財団法人越前おおの観光ビューローへの支援を求める要望について】

◎参考人(要望書提出者)の説明

経営基盤がいまだ脆弱^{びいじゃく}であり、中部縦貫自動車道の全線開通が延期されたことで当初見込んでいた観光消費額の増加が見込めず、市の支援継続が必要である。また、職員の育成も十分ではないため、引き続き市職員の派遣が必要である。

◎市の意見

全線開通の延期などにより、収益面で厳しい状況の中、支援の継続はやむを得ない。

令和7年度で市職員の派遣は終了するが、観光交流課観光企画グループの執務室を観光ビューローのある平成大野屋洋館に移転し、観光ビューローや商工会議所などと連携を強化する。市職員がまちなかの声を聞きながら、事業の推進につなげていく。

◎委員の意見

観光交流課職員のまちなかへの移転が、本市の観光業はもとより、市民生活にも良い効果が発揮されることを期待する。

請願書・陳情書の提出方法のお知らせ



どなたでも、市政についての要望などを、請願書や陳情書として市議会に提出することができます。

定例会開会日の11日前の午後5時まで^{まで}に提出しますと、その定例会で審査します。その後に受理した請願書・陳情書は次の定例会で審査します。

詳しくは市議会ホームページを確認してください。

総文厚生常任委員会 審査報告

(◎白崎、○笹山、猪嶋、木戸屋、山崎、高田、廣田、高岡)

【東京都新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情】

◎市の意見

政党機関紙を定期購読している職員がいることは承知しているが、全容は把握していない。勧誘による職員の心理的負担などの具体的な事例も把握はしていない。

◎委員の意見

政党機関紙の勧誘が、場合によってはハラメント行為に当たるものと考えため、採択としたい。

市職員へのアンケート等による実態調査に努められ、調査結果を報告されたい。

【各種事業の取り組み】

◎委員の意見

事業数が多く、事業内容や効果が見えづらいものもある。新規や臨時に取り組む事業などは、翌年度にその効果や実績の報告ができるよう、全庁的な仕組みを検討いただき、議会へ報告されたい。

◎市の答弁

いただいたご意見は大事なことだと考える。検討したい。

【大野市自然体験活動施設設置条例を廃止する条例案】

◎市の説明

元六呂師小学校校舎を自然体験等の活動施設として利用してきたが、老朽化やコロナ禍以降利用者数が回復しないことなどから、施設を廃止する。

◎委員の質問

廃止に対する地元からの意見はどのようなものがあったのか。

◎市の答弁

地域での利用はほとんどなく、避難所機能を他施設で対応することを説明しており、廃止して問題ないとの意見を確認している。

今後は民間利用について検討していく。



大野市自然体験活動施設

委員会も傍聴できます！

常任及び特別委員会は申し出により傍聴することができます。

傍聴の申し出書は、議会開会日から受け付けますので、議会事務局まで申し出ください。

なお、入室できる人数に限りがあるため、先着順で受け付けを締め切らせていただく場合があります。

申し出書は自署された場合、押印は不要です。



中部縦貫自動車道等交通対策 特別委員会報告

◎高田、○猪嶋、帰山、白崎、山崎、梅林、高岡

【新子馬巢谷橋の工事課題】

◎市の説明

橋脚ケーソン基礎の周りを機械で穴を開け、土をほぐす作業が行われており、この作業で橋脚ケーソン基礎が計画どおりに沈下すれば、この地点の工事課題は解消される見込み。

◎委員の質問

地すべりを抑止する杭の打ち込みは、これ以上実施しないのか。

◎市の答弁

橋脚ケーソン基礎が沈下していかない場合は、追加で杭を打ち込む可能性はある。



新子馬巢谷橋（国土交通省HPより）

こども政策・公共施設等改革 特別委員会報告

◎笹山、○伊東、岸本、木戸屋、林、廣瀬、野村

【市立集会所の地域への譲渡】

◎市の説明

令和11年度末をめどに、市立集会所としての機能を廃止し、自治会活動等での活用を希望する地元へは譲渡等を行い、希望がない場合は施設の解体等を検討する方針である。

◎委員の質問

同一施設を利用する行政区等が複数ある場合の対応は。

◎市の答弁

集会所を管理する目的で複数行政区による地縁団体を設立することも可能であり、地元にはさまざまな対応策を示していく。



市立集会所（幸町集会所など）



議会傍聴をお待ちしています

3階の議会事務局で受け付けをしてください。

次回、7月定例会は

7月17日（金）～8月10日（月）に開会予定です。

日	月	火	水	木	金	土
					7/17 本会議10:00～ （開会） ●ライブ配信	18
19	20 海の日	21 議案調査	22 議案調査	23 議案調査	24 議案調査	25
26	27 本会議10:00～ （一般質問） ●ライブ配信	28 本会議10:00～ （一般質問） ●ライブ配信	29 特別委員会 （予算）	30 常任委員会 （くらし産業）	31 常任委員会 （総文厚生）	8/1
2	3 委員会予備日	4 特別委員会 （中部縦貫自動車道 等交通対策） （こども政策・ 公共施設等改革）	5 委員会予備日	6 委員会予備日	7 委員会予備日	8
9	10 本会議10:00～ （閉会） ●ライブ配信	本会議をライブ配信します /@OnoCityCouncil				

※日程や会議時間は、予定のため変更になる場合があります。

令和8年1月第448回臨時会 議案の審議結果

すべての議案を全会一致で可決・承認としました

議案番号	議決結果	議案名	
市長提出議案	1	可決	令和7年度大野市一般会計補正予算(第7号)案
	2	承認	専決処分の承認を求めることについて(令和7年度大野市一般会計補正予算(第6号))
	3	可決	令和7年度大野市一般会計補正予算(第8号)案

令和8年3月第449回定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

全会一致で可決・同意・趣旨採択とした議案等

議案番号	議決結果	議案名	議案番号	議決結果	議案名			
市長提出議案	6	可決	令和8年度大野市和泉診療所事業特別会計予算案	市長提出議案	21	可決	大野市立学校設置条例及び大野市立学校体育施設の開放に関する条例の一部を改正する条例案	
	7	可決	令和8年度大野市後期高齢者医療特別会計予算案		22	可決	大野市いじめ問題対策連絡協議会設置条例の一部を改正する条例案	
	8	可決	令和8年度大野市介護保険事業特別会計予算案		23	可決	大野市エキサイト広場総合体育施設設置条例の一部を改正する条例案	
	9	可決	令和8年度大野市水道事業会計予算案		24	可決	大野市介護保険条例の一部を改正する条例案	
	10	可決	令和8年度大野市簡易水道事業会計予算案		25	可決	大野市火入れに関する条例の一部を改正する条例案	
	11	可決	令和8年度大野市下水道事業会計予算案		26	可決	大野市建築物における駐車施設の附置等に関する条例の一部を改正する条例案	
	12	可決	令和7年度大野市一般会計補正予算(第9号)案		27	可決	大野市火災予防条例の一部を改正する条例案	
	13	可決	令和7年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)案		28	可決	大野市幼稚園設置条例を廃止する条例案	
	14	可決	令和7年度大野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)案		29	可決	大野市自然体験活動施設設置条例を廃止する条例案	
	15	可決	令和7年度大野市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)案		30	可決	大野市過疎地域持続的発展計画について	
	16	可決	令和7年度大野市水道事業会計補正予算(第3号)案		31	可決	令和8年度大野市一般会計補正予算(第1号)案	
	17	可決	令和7年度大野市下水道事業会計補正予算(第3号)案		32	可決	指定管理者の指定について(大野市九頭竜保養の里)	
	18	可決	大野市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例案		33	同意	人権擁護委員候補者の推薦について	
	19	可決	大野市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案		陳情	1	趣旨採択	「地域医療・介護を崩壊させないために機敏な診療・介護報酬改定を求める意見書」の採択を求める陳情書

各議員の表決が分かれた議案等

議案番号・議案名	議員名(議席番号順)	議決結果	笹山 晃一	岸本 一敏	白崎 貴之	木戸屋八代実	林 順和	廣瀬 浩司	伊東由起恵	山崎 利昭	野村 勝人	高田 育昌	廣田 憲徳	堀田 昭一	梅林 厚子	高岡 和行
市長提出議案	4 令和8年度大野市一般会計予算案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	5 令和8年度大野市国民健康保険事業特別会計予算案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	20 大野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情	2 東京都新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情	採択	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛

議長(廣田憲徳)は採決に加わらないので「/」で表示。議案に賛成○、反対×
陳情の願意を賛成とする場合「賛」、願意を否とする場合「否」

福井県市議会議長会表彰

1月26日に、福井県市議会議長会の令和8年2月定期総会が開催され、同会規定による表彰式が行われました。大野市議会からは、高田育昌議員が議員在職10年表彰を受賞しました。



編集後記

「ひさかたの 光のどけき 春の日に しづ心なく 花の散るらむ(紀友則)」
雪国大野には、春を待ち望むさまざまな風土や風習が受け継がれています。そして、桜の開花は冬の生活のねぎらいや、幸福感、人生のはかなさを示してくれているように思います。

第449回定例会も終わり新年度の始まりです。市民の代表であるため議員力、議会力の向上を目指し、引き続き議会改革に取り組んでまいります。市民の皆さまには忌憚なきご意見を賜りたくお願い申し上げます。(座長 梅林厚子)



市議会HP

議会だより編集委員会
座長 梅林厚子
委員 笹山晃一
白崎貴之
山崎利昭